

【0039・舟橋直子・野生生物保全運動関連資料】

資料群概要

作成主体：舟橋直子

資料群名称：舟橋直子・野生生物保全運動関連資料

年代：1994年8月から2011年9月まで

要約：

舟橋直子氏の収集による野生生物保全運動に関連した NGO が発行する書籍、パンフレット類からなる資料群である。

総量：1箱8ファイル

受入番号：0039

言語：日本語

資料群の管理と利用に関する情報

出所：

国際動物福祉基金（IFAW）日本事務所事務局長の舟橋直子氏によって収集された野生動物保護運動関連資料（以下、本資料群と略記）からなる。本資料群は、2011年9月30日、舟橋直子氏より環境アーカイブズが寄贈を受けたものである。

関連する資料群：

環境アーカイブズ所蔵の野生生物保全関連資料として、0019・『Oikos』等野生生物保存運動関連図書資料、および0007・自然の権利運動関連資料がある。0019は、イルカやクジラなど主に海洋生物の保護や海洋環境問題など、また、0007は、鳥類保護や水生、海洋生物の環境保護などの資料である。

利用の形態：

原資料での閲覧

整理方法についての情報：

資料の寄贈を受けた後、環境アーカイブズのスタッフにより写真撮影がなされ、保管している。ファイル分け、資料目録および資料群概要の作成、最終的な取りまとめは、大原社会問題研究所環境アーカイブズ RA 鄭育子（ちょん・ゆくちゃ）が行い、2016年1月に公開した。

引用する場合の表記方法：

舟橋直子・野生生物保全運動関連資料、受入番号 0039、箱 1、各ファイル番号、法政大学大原社会問題研究所環境アーカイブズ

作成者の権利について：

所有権は法政大学大原社会問題研究所環境アーカイブズにあり、著作権は個々の資料に応じる。

作成主体についての情報

寄贈者である舟橋直子氏が収集した本資料群は、主に次のような市民団体によって作成された資料に基づく。

まず、IFAW（国際動物福祉基金）は 1969 年に設立された市民団体(NGO)であり、世界中の動物とその生息地を護る活動を 40 カ国以上で行っている。IFAW の活動として、助けを必要としている野生生物や家畜、あるいは被災した動物に実践的な援助を提供し、商業捕鯨やアザラシ猟の禁止を求める運動のように、残酷な行為や個体群の激減から動物を護ることなどを提唱している。

次に、JWCS（NPO 法人野生生物保全論研究会：1990 年発足、2012 年より東京都武蔵野市に事務所を置く）は、野生生物の保全を第一に掲げ、活動を行っている。また、JWCS は、野生生物の真の保全を実現させるような実践の基礎となる理論を打ち立て、内外の環境関係諸団体に課題や具体的指針などを提起し、会報『JWCS 通信』の発行（年 3 回）も行っている。

また、エルザ自然保護の会（1976 年設立）は、世間から忘れられている自然保護運動の盲点をつねに捉え、地球規模の自然、環境保護をめざして活動している。その活動には、ひそかに滅びつつある動物の保護を訴え、動物の生体実験に反対する討論を行う等があり、「一人一人がまず自分のできることから自然保護の実践」を基本方針に掲げて再生紙を使用した会誌、会報の発行等も行う。

【参照】

IFAW ホームページ <http://www.ifaw.org/japan>

JWCS ホームページ <http://www.jwcs.org/>

エルザ自然保護の会（Elsa Nature Conservancy）ホームページ <http://elsaenc.net/>

資料群の内容

本資料群は、野生生物保全運動に関連した NGO によって発行された会報、一般刊行物、研究会や国内外で行われた会議の資料などで構成されている。